

科目名	地域再生論	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			国際学科	□必修 ■選択	
英文表記	Regional Revitalization	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中		
ふりがな	よこたけいさぶろう いのうえひろし	実務教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	横田恵三郎 井上 寛	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	秋田の地域再生とその課題				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の少子高齢化をはじめとする秋田における諸問題や課題について理解する。 ・地域再生を目指す取り組みを理解する。 				
授業概要	地域再生は、文化資源、自然資源、農林水産物、伝統的な産業技術といった多様な地域の資源を活用し、地域のさまざまな人々が協力しながら取り組まれています。この授業では、実際に地域再生に取り組んでいる方々をお招きし、実践事例を交えて学修することを目標とします。				
授業計画					
第1回	オリエンテーション(横田・井上)				9/28(木)
第2回	ナマハゲとアウトドアを中心とした地域ブランド力の向上(男鹿市観光課)				10/19(木)
第3回	秋田再生の切り札と期待される洋上風力発電関連事業への取り組み(日本郵船)				10/26(木)
第4回	秋田県における観光・交流施策の推進について(秋田県観光戦略課)				11/ 2(木)
第5回	地域連携による持続可能な観光地経営(鹿角市産業活力課)				11/ 9(木)
第6回	秋田犬のふるさと大館市の取組(大館市観光課)				11/16(木)
第7回 第8回 第9回	<事例研究>農家民宿とグリーンツーリズムによる地域再生 (一般社団法人 仙北市農山村体験推進協議会・農家民宿星雪館)				11/19(日)
第10回	エネルギーの地産地消による地域経済の活性化そしてカーボンニュートラルの実現(北都銀行)				11/30(木)
第11回	<事例研究>秋田犬による地域再生(一般社団法人 ONE FOR AKITA)				12/ 7(木)
第12回	ノーザンステーションゲート秋田の取り組みについて(JR東日本秋田支社地域共創部)				12/14(木)
第13回	旅行業界の地域再生への取り組み(JTB秋田支店)				12/21(木)
第14回	航空業界の地域再生への取り組み(日本航空秋田支店)				1/11(木)
第15回	まとめ(横田・井上)				1/17(木)
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	地域再生に関連する新聞記事やニュースに関心を持って触れてください。				

履修条件受講のルール	事例研究では、入館料等実費が掛かる場合があります。 講義で使用する資料は、講義日の前日までポータルサイトに掲載します。 履修者は、事前に各自資料をダウンロードして、PC 持参か資料を印刷して受講してください。
テキスト	特に使用しません。
参考文献・資料	ポータルサイトに配布します。 印刷するかダウンロードして閲覧できる状態で授業に参加してください。
成績評価の方法	下記評価項目を基にして総合的に判断します。 ①定期試験(50%) ②課題の提出(30%) ③主体的学びの姿勢(20%) ※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、期末試験を受けることができません。 ※出席回数が規定に満たない場合は履修の認定を受けることができません。
オフィスアワー	〈横田〉 毎週月曜日 1 時限(9:00~10:30)、毎週火曜日 1 時限(9:00~10:30) 〈井上〉 毎週月曜日 1 時限(9:00~10:30)、金曜日 3 時限(13:00~14:30)
成績評価基準	秀(100~90 点)、優(89~80 点)、良(79~70 点)、可(69~60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	地域再生に取り組んでいる学外の方々に講義していただきます。みなさんの卒業後の進路選択にも役立つと思います。自分から積極的に質問し、主体的に学ぶことを心がけてください。